

令和8年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8	議席 番号	3	氏名	仲 亀 恭 平 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 富士宮市と山梨県南巨摩郡南部町で取り組む防災と危機管理				令和5年7月に山梨県の南部町と締結した「災害時の相互応援に関する協定」は隣接自治体同士の防災力を高める素晴らしい取組である。富士山噴火や地震、大雨など共通の災害リスクに備えるため、今後は通信や物資、避難所などの連携をさらに実効性のある形へ発展させていくことが求められる。今後の連携拡大に対する市の考えを伺う。 (1) 広域連携の現状の再確認について。 (2) 将来的な連携拡大に対する市の考えはあるか。 (3) 情報交換の場の設置提案について。 ① 両市町の担当課レベルや地域住民・事業者等を交えた情報交換の場の必要性について、市の考えを伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長
2 「二十歳を祝う集い」のこれから～市民文化会館での集約開催の可能性～				富士宮市民文化会館のリニューアルオープンを機に、現在分散等で行われている「二十歳を祝う集い」を集約して開催できないか伺う。 (1) 分散開催となった経緯について。 (2) 集約開催について、市の考えを以下伺う。 ① 一堂に集まることの意義及びメリットについて。 ② 想定される課題と対策について。 ③ 今後の集約開催の可能性について。		市長 副市長 教育長 関係部長
3 新人ハンターを富士宮で育てる！～狩猟の現場支援と地域おこし協力隊～				有害鳥獣被害対策の要である狩猟の担い手不足が深刻である。免許を取得したものの、どう始めていいか分からないという新人も多い。狩猟免許を取得したばかりの初心者ハンターが孤立せず、事故を起こさずに現場に慣れることができるよう、以下提案する。 (1) 新人向け研修プログラムの創設支援について。 (2) 定住と有害鳥獣被害対策を担う“地域おこし協力隊ハンター”の導入について。		市長 副市長 教育長 関係部長